

急性期病院の一般病棟における多職種での 終末期がん患者への意思決定支援 ～ペプロウの看護理論を用いた振り返り～

3階西病棟に2021年4月1日～2022年10月31日の間、がんで入院、治療を受けられた
患者さん・ご家族の方へ

研究機関 獨協医科大学日光医療センター 看護部
研究代表者 看護部長 小倉 佳子
研究責任者 工藤 冴佳（看護師）
研究分担者 石澤 薫（看護師長）
福田 佳高（主任看護師）

このたび獨協医科大学日光医療センター 看護部では、がんで入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、研究責任者または分担者までご連絡をお願いします。

尚、ペプロウの看護理論は、患者さん・ご家族の方と看護師が人間関係を形成し、精神的な視点から問題を解決するための考え方をわかりやすくするための理論です。

獨協医科大学日光医療センター生命倫理委員会の承認（日看 23-003）と病院長の許可を得ています。

1. 研究の目的 及び 意義

国民のおよそ半数が生涯でがんを患い、多くの方ががんによって人生の最期を迎えています。そのため、早期から患者さんの治療方針や最期の過ごし方を把握し多職種で支援していくことが重要であると考えます。今回、多職種での終末期がん患者さんへの意思決定支援について、診療記録から振り返りをさせていただきます。今回得られた結果はがん患者さんの終末期に関わる看護への一助になると考えます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2021年4月1日～2022年10月31日の間に獨協医科大学日光医療センターにおいて、入院してがんの治療を受けられた方を対象としています。

2) 研究実施期間

本研究の実施許可日 ～ 2024年3月31日

3) 研究方法

電子カルテの過去の診療記録から情報を収集します。多職種スタッフの言動、患者さん・ご家族の方

いたします。得られたデータはセキュリティ機能付きの電子媒体にのみ保管し、病棟の鍵のかかるロッカーに保管しデータは持ちだすことはありません。情報は、研究終了後 5 年保存後に削除・破棄致します。

6) 研究計画書の開示

患者さん等からのご希望があれば、個人情報や法令に支障がない範囲内で、本研究計画の資料等をご提示いたします。

7) 研究成果の取扱い

本研究は院内看護研究発表会、関連する学会への発表を予定しております。その際も個人が特定できないようにいたします。他の研究に使用することはありません。

3. 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、2023 年 11 月 31 日までに下記にお問い合わせください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、2023 年 12 月 1 日以降は既に分析を開始しているため、参加の取り消しが困難になる場合があります。その際には、十分にご説明させていただきます。

【問い合わせ・連絡先】

獨協医科大学日光医療センター 看護部

研究担当者 工藤 冴佳 (看護師)

研究分担者 福田 佳高 (主任看護師)

石澤 薫 (看護師長)

連絡先 栃木県日光市森友 145-1

TEL 0288-23-7000 内線 3350

(対応可能時間帯：平日 9 時 00 分～16 時 30 分)